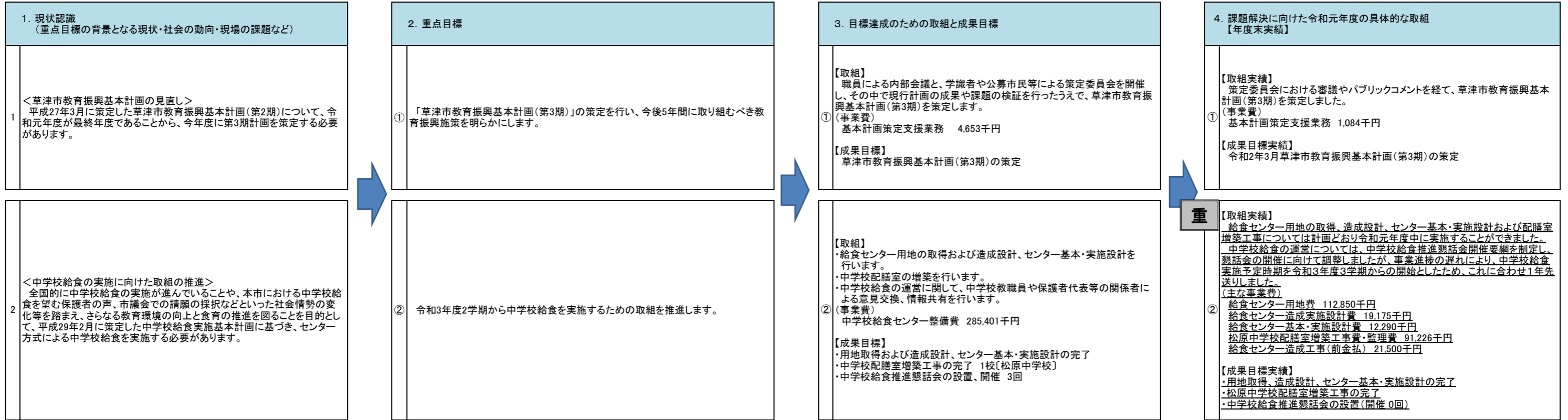


《令和元年度 教育委員会事務局 組織目標の達成状況》

重 令和元年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和元年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者

部長	居川 哲雄
理事	畑 真子



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
<p><教育施設の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校施設は建築後相当の年数が経過しており老朽化が著しい状態です。また、グラウンド等の屋外施設や受電設備等の付帯設備についても、未改修の学校が多く、老朽対策工事を進める必要があります。 ・学校施設の維持管理等に關するトータルコストの縮減及び平準化を図ると共に学校施設に求められる機能を確保するため中長期的な視野に基づく学校施設の長寿命化計画を策定する必要があります。 ・学校施設の構造体に係る耐震化は完了していますが、構造体以外の天井や窓、備品等(非構造部材)の耐震化が完了しておらず、これらの耐震対策を進める必要があります。 ・高穂中学校では、校区内周辺の宅地開発が進み、生徒数が年々増加しています。今後、教室数が不足することが想定されることから校舎の増築を行う必要があります。 	➡

<p><文化・芸術活動の振興></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国では、文化を観光やまちづくりなど各分野に活用しようと、平成29年6月に「文化芸術基本法」が施行され、平成30年3月6日に文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的推進を図るため、「文化芸術推進基本計画」(第1期)が閣議決定されました。 ・本市においても、平成29年7月1日に基本理念等を定めた草津市文化振興条例を施行するとともに、平成30年3月に草津市文化振興計画を策定し、草津らしい文化の創造と発展を目指すための基本方向等を定めました。 	➡
--	---

2. 重点目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図るため、老朽化が進む小中学校施設等の改修とバリアフリー対応の工事・設計を行います。 ・学校施設の中長期的な機能保全を図るため学校施設の長寿命化計画を策定します。 ・地震に対する学校施設の安全性を確保するため、小中学校校舎の非構造部材について耐震工事をを行います。 ・高穂中学校について、生徒数の増加に対応した適正な施設規模を確保するため、校舎増築工事をを行います。 	➡

<p>④ 文化振興計画に基づいて、誰もが等しく文化にふれられる市民文化政策の推進と、個性ある文化の創造により都市の魅力を高める都市文化政策の推進を図り、“出会い”と“交流”に満ちた草津市の文化を創造し、発展させます。</p>	➡
--	---

3. 目標達成のための取組と成果目標	
<p>【取組】 建築後相当年数経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、バリアフリー対応の工事・設計を行います。</p> <p><令和元年度> (事業費)285,459千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松原中学校武道館他大規模改修工事(131,080千円) ・松原中学校武道館他大規模改修工事監理業務(4,815千円) ・新堂中学校武道館大規模改修工事(56,469千円) ・新堂中学校武道館大規模改修工事監理業務(3,682千円) ・老上中学校グラウンド改修工事(78,995千円) ・老上中学校グラウンド改修工事監理業務(2,798千円) ・草津第二小学校トイレ改修工事実施設計業務(1,889千円) ・老上小学校グラウンド改修工事実施設計業務(5,731千円) <p><平成30年度予算繰越明許費> (事業費)77,745千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草津中学校トイレ改修2期工事(75,402千円) ・草津中学校トイレ改修2期工事監理業務(2,343千円) <p>【成果目標】 各工事、実施設計の完了</p>	➡
<p>【取組】 学校施設の長寿命化計画を策定します。</p> <p>④ ・学校施設長寿命化計画策定支援業務(13,400千円)</p> <p>【成果目標】 計画の策定</p>	➡
<p>【取組】 小中学校の非構造部材の耐震対策工事、調査点検実施設計業務を行います。</p> <p>(事業費)115,801千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校校舎非構造部材改修工事[志津・笠縫小学校](73,493千円) ・小学校校舎非構造部材改修工事監理業務[志津・笠縫小学校](4,686千円) ・小学校校舎非構造部材改修工事調査点検実施設計業務[山田・常盤小](12,253千円) ・中学校校舎非構造部材改修工事[老上中学校](16,666千円) ・中学校校舎非構造部材改修工事監理業務[老上中学校](2,343千円) ・中学校校舎非構造部材改修工事調査点検実施設計業務[松原中学校](6,360千円) <p>【成果目標】 校舎の非構造部材の耐震化実施校率(累計)70% (平成30年度55%)</p>	➡
<p>【取組】 校舎の増築工事をを行います。</p> <p>(事業費)612,417千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高穂中学校増築工事(446,257千円) ・高穂中学校駐輪場解体他工事(161,650千円) ・テニスコート整備工事実施設計費(4,510千円) <p>【成果目標】 工事の完了</p>	➡

<p>【取組】 草津市文化振興計画に基づく文化振興プログラムを実施し、草津市における文化振興を特徴づけ、草津らしい文化の創造を促進します。</p> <p>(事業費)文化振興プログラム推進費 4,883千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートフェスタくさつ開催 ・重点プロジェクトプレ事業委託 ・草津市文化振興審議会開催 ・草津シネマ塾開催 <p>【成果目標】 文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合 23.0% (平成30年度実績 21.6%)</p>	➡
---	---

4. 課題解決に向けた令和元年度の具体的な取組 【年度末実績】	
<p>重</p> <p>【取組実績】 建築後相当年数経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、バリアフリー対応の工事・設計を行いました。 新堂中学校武道館大規模改修工事については令和2年3月から7月で実施します。 老上中学校グラウンド改修工事、老上小学校グラウンド改修工事実施設計業務については令和2年度に実施します。</p> <p><令和元年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ③ ・松原中学校武道館他大規模改修工事(118,100千円) ・松原中学校武道館他大規模改修工事監理業務(2,615千円) ・草津第二小学校トイレ改修工事実施設計業務(1,574千円) <p><平成30年度予算繰越明許費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・草津中学校トイレ改修2期工事(62,454千円) ・草津中学校トイレ改修2期工事監理業務(1,659千円) <p>【成果目標実績】 国の交付金の採択時期等の関係から、夏休みに実施可能な工事を実施しました。</p>	➡
<p>重</p> <p>【取組実績】 県を通じて国と調整した結果、市有建築物保全計画のなかで学校施設の長寿命化の内容が網羅できているとの判断が得られ、改めて個別に策定せずとも個別計画に代わるものとの理解を得ました。</p> <p>④</p> <p>【成果目標実績】 上記理由により、策定済みと見なされています。</p>	➡
<p>重</p> <p>【取組実績】 小中学校の非構造部材の耐震対策工事、調査点検実施設計業務を行いました。 志津小学校については令和2年度に工事を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ ・小学校校舎非構造部材改修工事[笠縫小学校](55,714千円) ・小学校校舎非構造部材改修工事監理業務[笠縫小学校](0千円) ・小学校校舎非構造部材改修工事調査点検実施設計業務[山田・常盤小](7,122千円) ・中学校校舎非構造部材改修工事[老上中学校](7,185千円) ・中学校校舎非構造部材改修工事監理業務[老上中学校](1,848千円) ・中学校校舎非構造部材改修工事調査点検実施設計業務[松原中学校](3,630千円) <p>【成果目標実績】 校舎の非構造部材の耐震化実施校率(累計)65% (平成30年度55%)</p>	➡
<p>重</p> <p>【取組実績】 令和2年7月の完成を目指し増築工事をを行うとともに来年度に不足する教室の増築等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥ ・高穂中学校増築工事(154,721千円) ・高穂中学校駐輪場解体他工事(172,141千円) ・テニスコート整備工事実施設計費(2,200千円) <p>【成果目標実績】 工事については令和2年度に繰越を行い、完了は7月の見込みです。</p>	➡

<p>【取組実績】 文化振興計画をもとに、文化施策を計画的かつ総合的に進めました。また、草津市文化振興審議会において、重点プロジェクトの研究・準備と市美術展覧会の検証を行い、意見書としてまとめていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ ・アートフェスタくさつ開催(10/19、市役所・アマカホール・込田公園・草津川跡地公園de愛ひろば・草津宿本陣周辺の寺院、参加者約6千人) ・イオンモールとの文化振興に関する協定締結(10/12)およびビワアートフェス開催(10/5～18) ・プレ事業委託(リラクスパフォーマンス:6/19～23、プレミアムステージ:コロナで中止、おでかけシアタープログラム:コロナで中止) ・草津市文化振興審議会(全体会1回(1回はコロナで中止)、重点プロジェクト部会2回、施策評価部会1回) ・草津シネマ塾(9人受講、上映会はコロナで中止) <p>【成果目標実績】 文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合 21.2%</p>	➡
---	---

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和元年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>5 <小中学校体力向上プロジェクト> ・平成30年度の児童の新体力テストの結果は、上昇傾向にあります。児童生徒がより一層運動に関心を持ち、目標である全国平均点を上回るためには、今後も継続して体力向上に取り組む必要があります。 ・また、中学校の生徒の体力テストの結果は、全国平均点を上回っていますが、部活動などスポーツを行う機会が増え、けがが増加するため、スポーツ障害予防に取り組む必要があります。</p>	<p>5 ・立命館大学との協働研究を行いながら、児童生徒が運動する機会や環境の充実のための効果的な取組を行うとともに、短時間運動プログラム(草津市チャレンジタイム)の推進や体育科の授業改善、スポーツ傷害予防講座等の実施により児童生徒の体力向上に取り組めます。 ・また、更なる体力向上を目指して、学童保育との連携を進め、チャレンジタイムの実施機会の拡大を図ります。</p>	<p>8 【取組】 児童、生徒が運動に関心を持ち、継続して取り組めるよう、小中学校で体力向上プロジェクトに取り組み、大学と連携して児童の体力などに関するデータ収集・分析を行います。また、学童保育との連携を進め、チャレンジタイムの実施機会の拡大を図ります。 (事業費) 小学校体力向上プロジェクト推進費 1,165千円 中学校体力向上プロジェクト推進費 550千円</p> <p>【成果目標】 ・小学5年生の新体力テストの全国平均点を100とした場合の市の平均点の割合 男子100% 女子100% [平成30年度実績 男子102.5% 女子98.9%] (参考: 中学2年生平成30年度実績 男子103.8%、女子101.6%) ・学童保育指導者研修会でのチャレンジタイム講習の実施 1回 ・学童保育施設でのチャレンジタイムの試行実施 5か所</p>	<p>8 【取組実績】 小学校では楽しみながら運動ができるダンス教室や体育授業での予備的運動としてチャレンジタイムを実施しました。中学校ではスポーツ傷害を予防するためのスポーツ傷害予防講習会を実施しました。また、立命館大学スポーツ健康科学部や学校関係者による「小・中学校体力向上プロジェクト推進会議」を開催し、子どもたちの体力向上について継続的に取り組みました。 (事業費) 小学校体力向上プロジェクト推進費 1,165千円 中学校体力向上プロジェクト推進費 271千円</p> <p>【成果目標実績】 ・小学5年生の新体力テストの全国平均点を100とした場合の市の平均点の割合 男子102.0% 女子99.8% (参考: 中学2年生令和元年度実績 男子102.7%、女子101.4%) ・学童保育指導者研修会でのチャレンジタイム講習の実施 1回 ・学童保育施設でのチャレンジタイムの試行実施 6か所</p>
<p>6 <文化財の保存と活用> 市外からの人口流入や地域の少子高齢化など、本市の社会構造は大きく変化しつつあります。その中で、希薄化する地域への関心を高めるうえで地域の歴史資源などの保存・活用が必要となってきています。 そのため、地域に埋もれた歴史資源の掘り起こし、およびそれらの保存・活用について市民から求められているとともに、文化財の後継者の育成や保存継承に係る支援の充実等が所有者などから求められています。</p>	<p>6 市内に存する歴史遺産や歴史文化の保存・活用に関する基本方針を定めるとともに、指定・未指定を含む本市のすべての文化財の保存・活用に向けた取り組みを進めます。</p>	<p>9 【取組】 ・平成30年度に策定した草津市史跡芦浦観音寺跡保存活用計画に基づき、史跡の整備を推進するための基本的な方向性を示す史跡芦浦観音寺跡整備基本計画を策定します。 ・史跡草津宿本陣の適切な保存・活用ができるよう史跡草津宿本陣保存活用計画を策定します。 ・平成30年の文化財保護法の改正により新たに策定することが必要となった文化財保存活用地域計画を、昨年度策定した草津市歴史文化基本構想を基礎とし、策定します。 (事業費) 計画等策定関係費 12,977千円</p> <p>【成果目標】 文化財の保存・活用啓発活動の件数 30件以上 (平成30年度 30件) (資料・写真の提供、案内・講座の開催)</p>	<p>9 【取組実績】 ・前年度に策定した史跡芦浦観音寺跡保存活用計画に続き、整備を推進するための基本的な方向性を示す史跡芦浦観音寺跡整備基本計画を策定しました。 ・史跡草津宿本陣の適切な保存・活用ができるよう史跡草津宿本陣保存活用計画を策定しました。 ・平成30年の文化財保護法の改正により策定の必要性が生じた文化財保存活用地域計画を、草津市歴史文化基本構想(平成30年度策定)に基づき策定しました。 なお、史跡草津宿本陣保存活用計画と草津市文化財保存活用地域計画は、令和2年度に文化庁認定を受ける予定です。 (事業費) 計画等策定関係費 11,371千円</p> <p>【成果目標実績】 文化財の保存・活用啓発活動の件数 実績 32件</p>
<p>7 <郷土愛の醸成> 草津の歴史文化の特色である宿場町や街道について関心を高め、ふるさと草津に愛着をもってもらえる事業展開や情報発信が必要となっています。</p>	<p>7 開館20周年を迎えた草津宿街道交流館や史跡草津宿本陣において、ふるさと草津に対する市民の関心を高める取組を進めます。</p>	<p>10 【取組】 市民が本市の歴史文化に関心を深めることができるよう街道交流館の開館20周年記念事業としてテーマ展やトークショーを実施します。</p> <p>10 【成果目標】 会員数 令和元年度の会員数を100人以上 (平成30年度 95人) 入館者数 令和元年度の両館入館者数を34,200人以上 (平成30年度 33,072人)</p>	<p>10 【取組実績】 草津宿街道交流館において、市民に草津の歴史や文化に興味を持ってもらえるよう、開館20周年記念事業として草津の歴史・民俗・考古の3分野のテーマ展や関連のトークショーを実施しました。</p> <p>10 【成果目標実績】 会員数 令和元年度の会員数は87人 (平成30年度 95人) 入館者数 令和元年度の両館入館者数は33,990人 (平成30年度 33,072人) 開館20周年記念事業の展開により上半期は入館者数の増加がみられたものの、年度末に新型コロナウイルスの影響で団体等のキャンセルにより目標値に及びませんでした。</p>
<p>8 <学校教育充実プログラムの実施> ・令和2年度から(中学校は令和3年度から)の新学習指導要領では、英語教育の充実・強化が掲げられ、小学校5、6年生の教科化、3、4年生の外国語活動の実施、それに伴う中学校での指導内容の高度化が計画されています。これに伴い、本市では、平成27年度に「草津市英語教育推進計画」を策定し、令和元年度まで計画的な取組を行っています。本年度は「草津市英語教育推進計画」の更新の年度でもあり、英語を用いた外国人とのコミュニケーション活動の機会を充実させるとともに、「草津市小中一貫英語教育カリキュラム」の作成など、より効果的な指導方法を確立していく必要があります。 ・新学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びを実現するため草津型アクティブ・ラーニングによる授業改善を推進するとともに、子ども一人ひとりの学習上のつまずきを把握し、個別に支援をしていく必要があります。</p>	<p>8 ・平成28年度から実施してきた「草津市英語教育推進計画」の更新を行い、令和2年度から全面实施となる新学習指導要領による英語教育の指導体制を確立し、英語教育を推進します。 ・教員の英語力、指導力の向上や、英語を用いたコミュニケーション活動の充実を図るとともに、「草津市小中一貫英語カリキュラム」の作成に取り組み、新学習指導要領に基づき、新しい英語教育に円滑に移行できるよう取り組みます。</p> <p>9 ・新学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びによる学力の向上を目指して、学び方を身に付けるための支援をします。 ・中学校入学以来の生徒一人ひとりの学習上のつまずきを把握し、克服する支援を行うことにより、生徒の学力向上を目指します。</p>	<p>11 【取組】 全中学校区で小中の連携を重視し、3名のALTによる市内全小中学校への巡回や遠隔授業による学校間の英語交流等の実施を通して、令和2年度の教育課程編成について検討するとともに、全面実施に対応するよう次の5点に取り組めます。 ・外国語活動年間指導計画モデル、および外国語活動学習活動計画モデルを充実します。 ・小中一貫性のある指導が行えるよう、小学校3年生から中学校3年生までの系統性を考慮したCan-Doリストを作成します。 ・学習指導要領先行実施のため、モジュール授業や通常授業において、配信型デジタル教材を活用した学習指導を進めます。 ・ICT機器を活用した授業の一環として、リアルタイムで外国人とコミュニケーション活動に取り組むオンライン授業を全小中学校で実施します。 ・中学1年生～3年生を対象に、スコア型英語技能検定(GTEC)を実施し、成果の把握と英語科の授業改善につなげます。 (事業費) JTE、ALT配置費 22,202千円 デジタル教材使用料 308千円 オンライン授業委託費 2,398千円 GTEC補助金 9,127千円</p> <p>【成果目標】 英語(外国語活動)が好きと回答した児童生徒の割合 80%(平成30年度 78.9%)</p> <p>12 【取組】 本市の学力向上策の一環として、新たに中学2年生を対象とした共通テストの実施と、テスト後の補充プリントによる学習支援を行います。 (事業費) 子どものつまずき発見・克服事業 委託料 1,320千円</p> <p>【成果目標】 補充プリントの提出率 90%以上</p>	<p>重</p> <p>11 【取組実績】 ・外国語活動年間指導計画モデルの見直しや、外国語科年間指導計画モデルの作成を行いました。 ・小中一貫性の指導が行えるよう、小学校5年生から中学校3年生までの系統性を考慮した草津版CAN-DOリストを作成しました。 ・モジュール授業や通常授業における導入段階で、配信型デジタル教材を活用した言語活動に取り組みました。 ・全14小学校の6年生を対象に、英語教育オンライン授業を年間5回ずつ実施し、外国人講師とのコミュニケーション活動を充実させました。 ・全6中学校の1～3年生を対象に、スコア型英語技能検定(GTEC)を実施し、成果を把握するとともに、授業改善についての具体的な取組に繋げました。 (事業費) JTE、ALT配置費 22,085千円 デジタル教材使用料 212千円 オンライン授業委託費 2,165千円 GTEC補助金 5,515千円</p> <p>【成果目標実績】 英語(外国語活動)が好きと回答した児童生徒の割合 76.5%</p> <p>重</p> <p>12 【取組実績】 ・中学2年生を対象に共通テストと事前事後補充プリントを作成し実施しました。生徒一人ひとりの学習上のつまずきを把握し、テスト後の補充プリントにより、つまずき克服に向けた学習支援を行いました。 ・生徒の参加率 98.5% ・アンケート結果「自分が困っているところを発見することができた」と感じている生徒の割合 79.1% (事業費) 子どものつまずき発見・克服事業 委託料 1,320千円</p> <p>【成果目標実績】 補充プリントの提出率 94%</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和元年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>9 <学びの基礎となる読みの力の定着> 市内小学校において、1年生の段階で、学習の基本となるひらがなの読み書きにつまずいている児童が一定数います。1年生時のつまずきは、高学年段階での学習困難の大きな要因となっていることから、低学年の早い段階から効果的な指導・支援を行う必要があります。 また、文章を素早く正確に読む力は「読解力」の向上につながり、効果的な「読み」の指導を早期から継続的に行うことが、学力向上につながります。これらのことから、読みにつまずく児童を、1年生の内に早期発見し、具体的かつ効果的な支援を即時行うことが必要です。</p>	<p>⑩ ・年間を通して定期的なアセスメントを行い、学習につまずく児童を早期発見するとともに、科学的根拠のあるアセスメント結果に基づき、効果的な指導・支援を行います。 ⑩ ・1年生の国語科の授業において、科学的根拠のある「読み」の指導を継続的にを行い、学力の基盤となる読みの力の向上を図ります。</p>	<p>⑬ 【取組】 モデル校4校で1年生の国語科の授業において、児童の読みの力を分析・把握し、タブレットPCを活用し、一人ひとりの課題に応じ、多層指導モデル(MIM)*による「読み」の指導を年間を通して行います。 *通常学級において、異なる学力層の児童ニーズに対応した指導・支援をする学習指導モデルのこと。 (事業費) 小1学びの基礎育成事業 988千円 【成果目標】 1年生の指導終了時に読みにつまずく児童の割合 8%以下</p>	<p>重 ⑬ 【取組実績】 モデル校4校で1年生の国語科の授業において、児童の読みの力を分析・把握し、タブレットPCを活用し、一人ひとりの課題に応じ、多層指導モデル(MIM)*による「読み」の指導を年間を通して行いました。 ⑬ 【成果目標実績】 1年生の2学期終了時に読みにつまずく児童の割合は、各校、22.6%、30%、20.4%、33.9%となった。3学期末に予定していたつまずき児童の把握は、新型コロナウイルスの対策による休校のため実施できませんでした。</p>
<p>10 <いじめを根絶・学校不応児童生徒への対応> 大きな社会問題となっているいじめ問題については、そのいじめの根絶に向け、学校の組織力を高め、家庭、地域、関係機関との連携を強化し、子どもの自己肯定感を高め、豊かな感性や人間性を育む取組を進めていく必要があります。 また、不登校をはじめとする学校不応には、学校、家庭、地域社会など子どもを取り巻く環境が影響していることが少なくありません。子どもたちの課題の解消を図るためには、本人への働きかけとともに、取り巻く環境の調整・改善に取り組む必要があります。</p>	<p>⑪ ・いじめに対する職員の危機意識の向上や未然防止の取組、早期発見、早期の組織対応等を総合的かつ効果的に推進するとともに、家庭や地域、関係機関との密接な連携のもと、いじめの根絶に向けた取組を進めます。 ⑪ ・学校不応については、教育や社会福祉の専門的知識・技術を有する人材を「チーム学校」のスタッフとして学校に派遣し、児童生徒をとりまく様々な環境に働きかけて支援を行い、個々の課題の解決を図ります。</p>	<p>⑭ 【取組】 ・道徳教育、いじめを予防する学習の充実等により、いじめを許さない集団作りに努めるとともに、教員研修の実施などにより、教員の対応力を強化します。 ・いじめの認知件数が多くなる6月と9月を「いじめ防止啓発強化月間」とし、各学校での取組を強めるとともに家庭や地域、関係機関との連携を図ります。 ⑭ ・いじめの未然防止・早期発見のために、いじめアンケートの工夫改善を行います。 ⑭ ・学校不応の児童生徒の課題解決を図るために、教育と社会福祉の分野における専門的知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを派遣します。 (事業費) スクールソーシャルワーカー配置費 1,638千円 【成果目標】 いじめの認知件数に対する解決率 100% (平成30年度 100%の見込み)</p>	<p>⑭ 【取組実績】 ・道徳教育、いじめを予防する学習の充実等により、いじめを許さない集団作りに努めるとともに、教員研修の実施などにより、教員の対応力を強化しました。 ・いじめの認知件数が多くなる6月と9月を「いじめ防止啓発強化月間」とし、各学校での取組を強めるとともに家庭や地域、関係機関との連携を図りました。 ⑭ ・いじめの未然防止・早期発見のために、いじめアンケートの工夫改善を行いました。 ⑭ ・学校不応や不登校の児童生徒の課題解決を図るために、教育と社会福祉の分野における専門的知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを派遣しました。 【成果目標実績】 いじめの認知件数に対する解決率 100%(見込み)</p>
<p>11 <地域による学校支援の充実> 社会情勢の変化により、学校を取り巻く課題が多様化しています。こうした課題に対応し、新学習指導要領に盛り込まれた「社会に開かれた教育課程」を実現するためには、学校と家庭、地域との連携を深め、家庭や地域の声を学校運営に反映する必要があります。</p>	<p>⑫ 「地域とともにある学校」の実現を目指して、学校、保護者、地域住民の組織的かつ継続的な連携と協働体制を確立し、学校運営の充実を図ります。</p>	<p>⑮ 【取組】 市内全20小中学校において、コミュニティ・スクールを実施します。また、年3回の研修会を実施し、それぞれの学校の強みを活かし、地域や保護者との協働体制を構築します。 ⑮ (事業費) 委員報酬 1,280千円 【成果目標】 学校評価の「コミュニティ・スクールくさは、学校運営に効果がある」における5段階評価 4.0以上 (平成30年度実績 3.7)</p>	<p>⑮ 【取組実績】 ・全20小中学校において、コミュニティ・スクールくさを実施しました。各校では、学校運営協議会を年間3～4回開催し、学校運営および運営への必要な支援に関する協議を行いました。 ⑮ ・年3回のコミュニティ・スクール研修会を実施し、延べ102名の参加がありました。 (事業費) 委員報酬 802千円 【成果目標実績】 学校評価の「コミュニティ・スクールくさは、学校運営に効果がある」における5段階評価 3.8</p>